

北陸中日新聞 2018年4月15日付



第一学院高校

金沢キャンパス編③

山崎茂理「配達ならでは」

最近、新聞を読む人の割合が減っているというのを耳にする。特に若者の新聞離れが顕著だとか。

けるといのは、今や当たり前でなくなっているのか。
雨の日も雪の日も、朝早くから朝刊がポストに届いているのには本当に頭が下がる。家庭に届けられる新聞の楽しみはもちろん、紙面の中身が一番であるが、一緒に入っている折り込み広告と、毎週日曜日の「サンデー版」である。コンビニや売店での購入にはない楽しみである。

新聞以外の媒体（インターネット

信頼できる情報じっくり

自分が一年前から住んでいる今のマンションでも、新聞を取っている世帯は少ないようだ。朝早く新聞配達の方が各家庭に朝刊を届

トやテレビなど）から情報を収集していることもあるのだが、新聞の良いところは、さまざまな情報が編集されて信頼できる情報になっていることである。そこがネット情報と大きく違う。

定期購読者の一人としてあらためてじっくり新聞を読む機会を増やし、考える時間を持ちたいと思う。

(やまざき・しげり
第一学院高校金沢キャンパス)

